

# Tower Brace Set

タワーブレースセット No. MKF4800

取付・取扱説明書

**AutoExe**  
A New Driving Sensation

株式会社オートエクゼ

〒135-0051 東京都江東区枝川 2-15-8  
TEL 03-6458-7251 FAX 03-6458-7261

この度は、オートエクゼ タワーブレースセット をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、当製品を車両に組付ける前に行う作業、組付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取付けの際には本書に従って作業を進めていただくようお願いいたします。また作業終了時には本書を必ずお客様にお渡しください。

**ご注意 ※当製品の装着に際し、以下の注意事項を厳守してください。**

1. 本書に記載する説明に従って装着を行ってください。本書に記載する以外で、当製品の取付け上やむをえない場合を除き製品の加工・改造・分解および、車両の改造は絶対行わないでください。
2. 当製品の通常の取付けに関しては、法律に定める自動車分解整備の項目に該当するものではありませんが、作業の方々は自動車整備を専門に3年以上経験をされている方、または当該経験者の監督下で作業可能な方を原則とします。
3. 純正部品の取外し・取付け作業は、マツダ(株)発行の整備解説書を参照して作業を行ってください。
4. 適合車種欄に記載する車両以外には絶対に取付けをしないでください。
5. 製品は、原則としてクレームには応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、車体に改造が施されていたり、純正ではない部品が取付けられていたりした場合、または日常点検を怠ったために発生した事故などについては、弊社は一切の責任を負いません。

## 適合車種

CX-5 (KF系) 全車

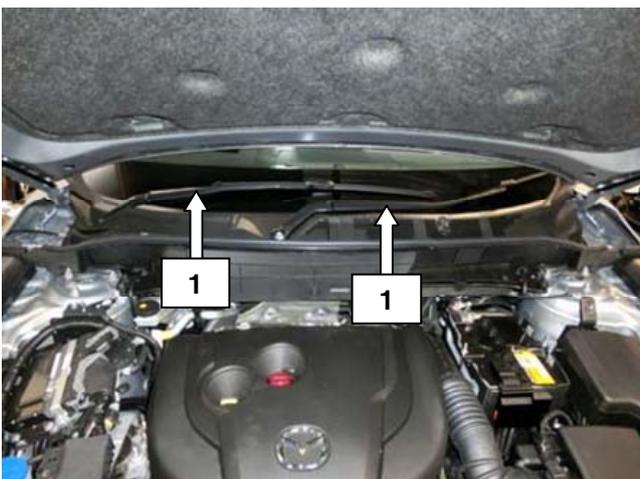
## 構成部品

No.	品名	仕様	数量
①	フロントタワーブレース	スチール製レッド塗装	1
②	フランジナット	M10×P1.25	6
③	フランジボルト	M8×20	4
④	プレーンワッシャー	M8対応	4
⑤	リアタワーバーブラケット LH	スチール製レッド塗装	1
⑥	リアタワーバーブラケット RH	スチール製レッド塗装	1
⑦	リアブリッジバー	スチール製レッド塗装	1
⑧	リアダイヤゴナルバー LH	スチール製レッド塗装	1
⑨	リアダイヤゴナルバー RH	スチール製レッド塗装	1
⑩	キャップボルト	M10×65 P1.5	4
⑪	プレーンワッシャー	M10対応	8
⑫	スプリングワッシャー	M10対応	4
⑬	袋ナット	M10対応	4
⑭	フランジボルト	M6×15	5
⑮	プレーンワッシャー	M6対応	5

## 装着作業

**フロントセクション** (説明は運転席側を示します。助手席側も同様の手順で作業を行います。)

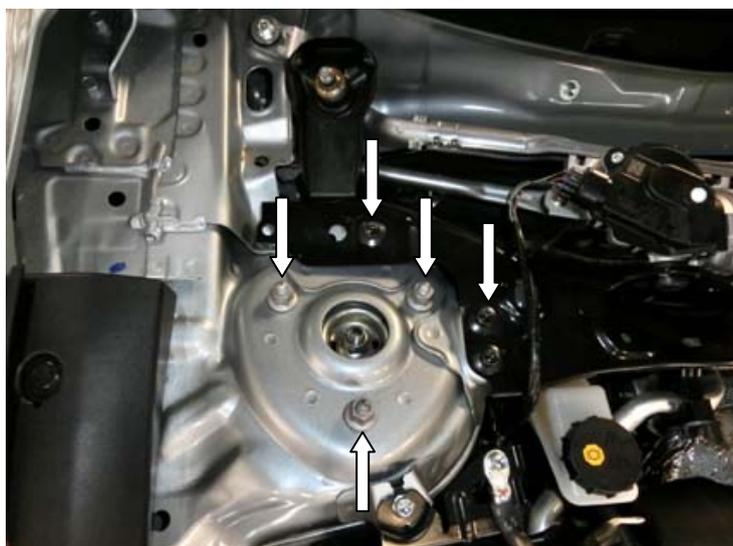
1. ワイパーアーム RH/LH を取外します。



2. 下図を参考に、ウインドウォッシャーホースをチェックバルブから切離した後、ファスナーを取外してカウルグリルを取外します。



3. アッパーマウントを固定しているナット3個とカウルパネルを固定しているボルト2個を取外します。  
(※取外したボルト、固定ナットは使用しません。大切に保管して下さい。)

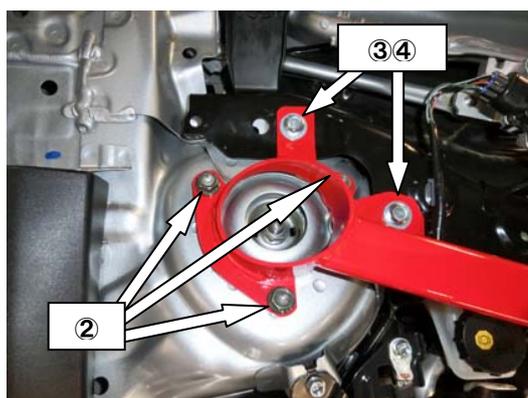


4. ①フロントタワーブレースを②フランジナットと、③フランジボルト、④ブレンワッシャーを使用して取付けます。



締付けトルク：  
カウルパネル取付けボルト 25～40N・m  
②フランジナット 49～59N・m

運転席側拡大図



5. カウルグリルとワイパーアーム RH/LH を車両に復元します。

## リアセクション

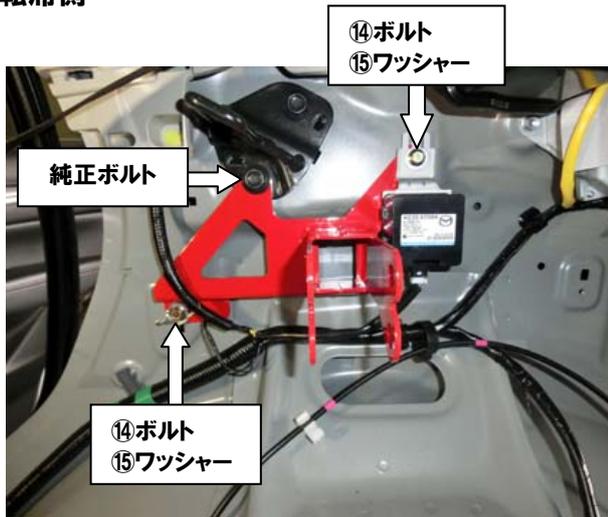
1. 車両から、センタートランクボード、トランクボード RH/LH、サブトランク、(※BOSE ベースボックス)、トランクエンドトリム、トランクサイドトリム RH/LH を取外します。

⚠注意 各ハーネスのコネクターを抜いてしまうとキーが認識されなくなり、最悪の場合エンジンがかからなくなってしまいます。取付け作業時には、各コネクターは絶対に抜かないで下さい。

2. 下図を参考に純正ボルトを取外し、純正ボルト、⑭フランジボルト、⑮ブレーンワッシャーでリアタワーバーブラケットを取付けます。(取外したアースポイントのM6ボルトは使用しません。大切に保管して下さい。)

締付けトルク: 純正ボルト 37~54N・m / ⑭ボルト 8~10N・m

### 運転席側

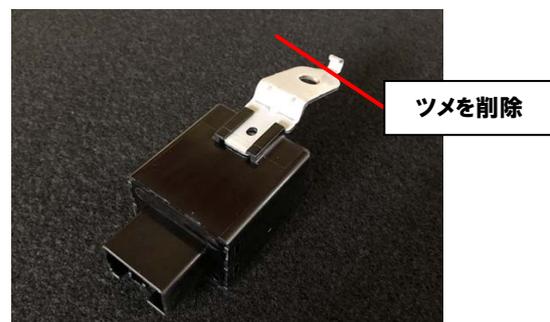
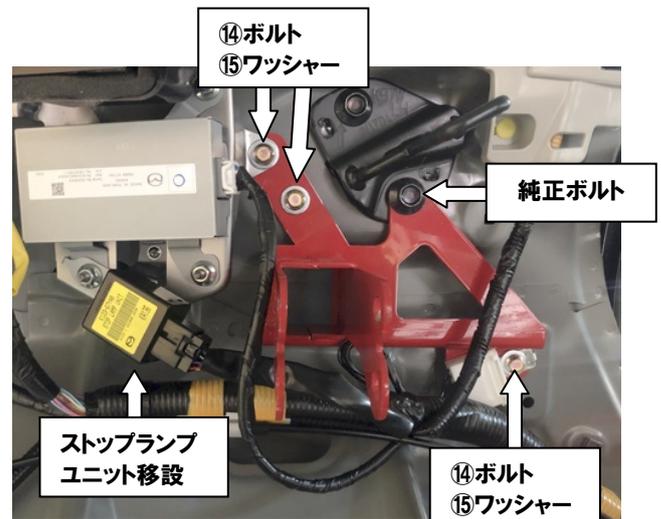


### 助手席側

[バックアップ電源ユニット無車]

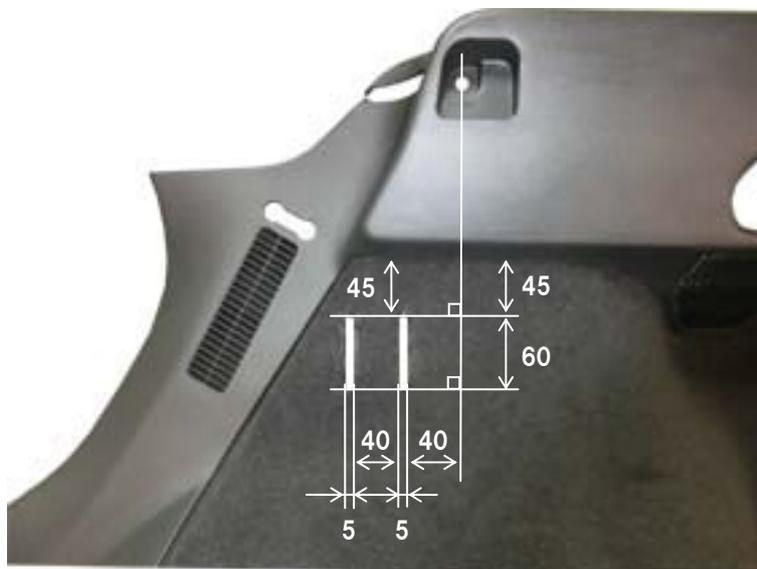


[バックアップ電源ユニット付車]



3. 下図を参考に、トランクサイドトリム RH/LH を切除加工します。

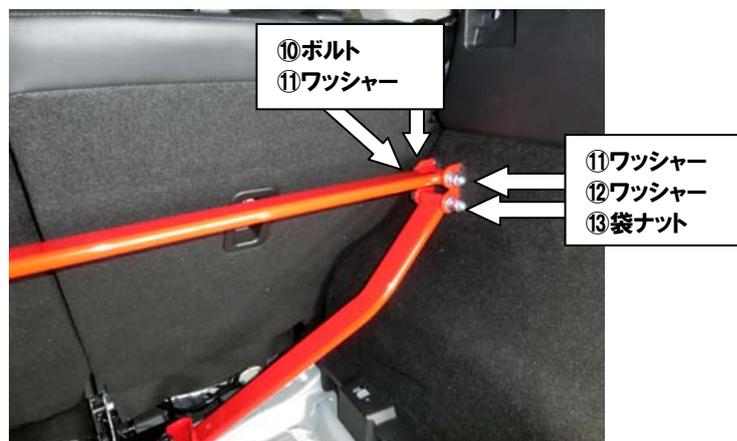
⚠ 注意 トランクサイドトリムはブラケットの取付け位置を確認しながら慎重に加工して下さい。  
(図は運転席側です。助手席側も同様です。)



4. 3で加工したトランクサイドトリム RH/LH を車両に復元します。

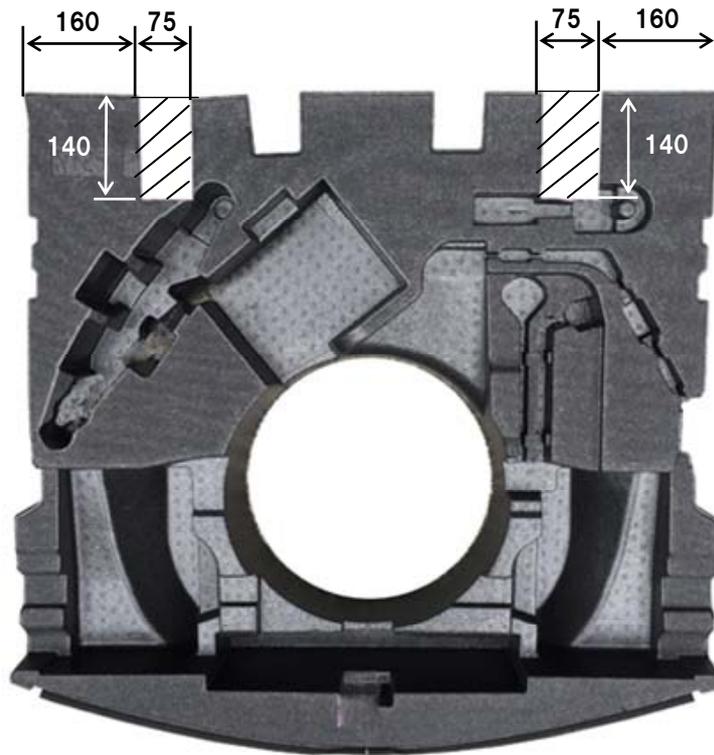
5. ⑦リアブリッジバーと⑧⑨リアダイヤゴナルバーを純正ボルト、⑩ボルト、⑪ワッシャー、⑫スプリングワッシャー、⑬袋ナットを使用して取付けます。

締付けトルク: 純正ボルト 37~54N・m / ⑩ボルト39.2N・m

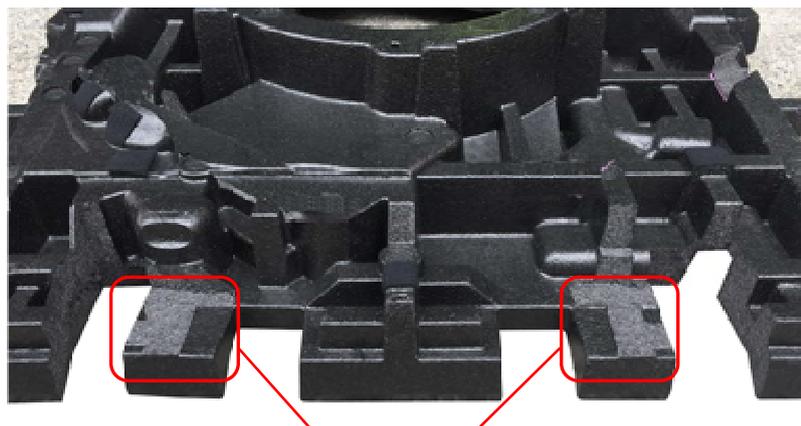


6. 下図を参考にサブランクの斜線部を切除加工します。

**表面図**

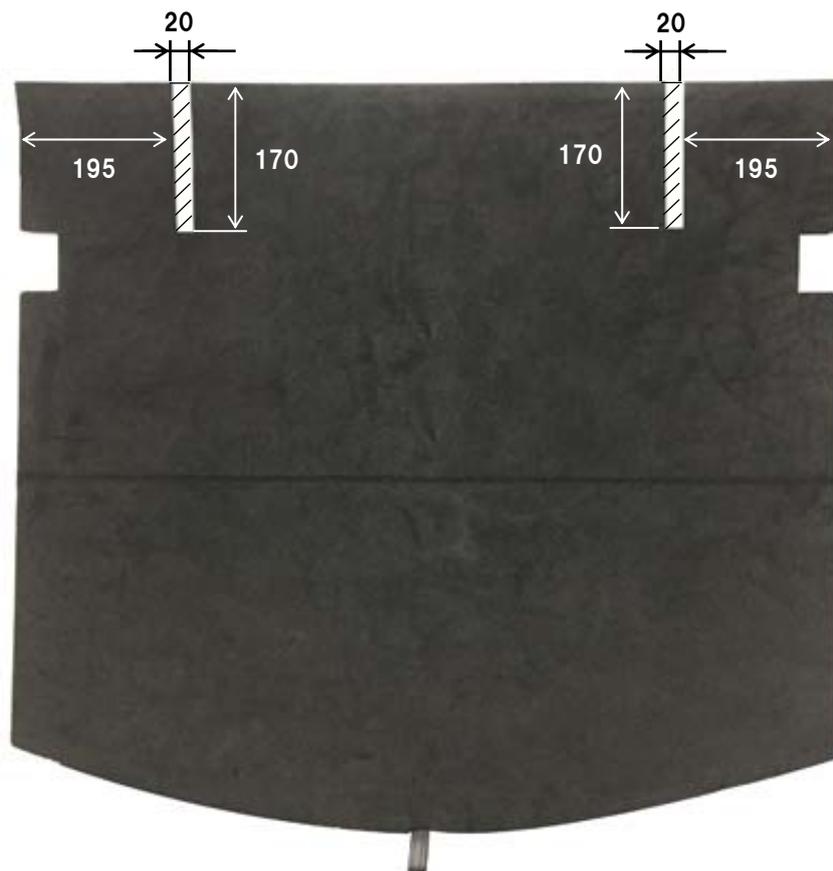


**裏面図**



サブランク裏面 図示部のリブを切除します。

7. 下図を参考に、バーの位置を確認しながらトランクボードの斜線部を切除加工します。



8. 7で加工したサブトランクボックスとトランクボードを取付けて作業完了です。

